



公開ヒアリング実施状況

2-5 ごみの減量化に向けた経済的手法の導入（環境政策課）

区分	内容
基本方針	3 財政運営の自立性・健全性の確保
重点推進項目	⑬ 受益者負担の原則に立った使用料、手数料の適正化
取組項目	ごみの減量化に向けた経済的手法の導入など
各委員のコメント	<ul style="list-style-type: none">○ ごみ減量は一人一人のモラルの問題であり、そこに有料化という抑止力を設けることは理解できる。ただ、その前にごみ減量推進検討委員会で議論すべきことは多い。○ レジ袋の有料化自体は、税金を使わず市民の意識を誘導するものであり良いと思う。他都市は有料化により本当にごみが減ったのか調べてみてはどうか。豊橋の住民意識の醸成によりごみを有料化したという方法が望ましい。○ ごみ減量に向けたごみ出しルールの改善など、ごみの有料化の前に取り組むべきことがある。○ ごみ減量によって市が収入を得るのは目的がぶれている。行政用ではなく、市民用にデータを出す必要がある。ごみゼロ発祥地の豊橋では、有料化しなくてもこれだけごみを減量できたということを言える方策を期待したい。
市民意見	<ul style="list-style-type: none">○ エコバッグはきっかけが無いと普及しない。行政による簡易的なエコバッグ配布と定着化に向けた働きかけを望みます。○ ごみ減量については、2年前に数値を出していたが、今回はあまりないので納得がいかない。ごみ減量は生ごみ減量が鍵であり、自ら減量する人にはもっと助成すべきである。スーパーでのプラスチック容器の氾濫など、社会全体としてごみ減量についてどうすべきか考えていかなければならない。